

新しい年を迎えるにあたっての構想

我が家では次男と長男が一度社会に出て一生懸命働いたが、現代の日本社会に適応できずに働けなくなった。私の子育ての原則は「優しく控えめで自尊心に満ちた人間」を目指していた。そして具体的に何をせよとは言わずに、自然に目覚める力を信じてきた。「人にして欲しくないことはするな！ 人にして欲しいと思うことをせよ！」と言ってきた。「やられたらやりかえせ！」とは一度も言ってはいない。次男はそれを地で行っており、驚くほど道徳的である。「汝なすべきが故になしあとう」というカントのあの有名な命題を自然にきちんと守ろうとしてきた。それ故に人の行動や言葉の裏が読めないで、「どうして？・・・どうして？・・・」

と考えるが、納得のいく答えが出てこない。

小中学校の頃は、普通のセンスと違うので様々ないじめを受けてきたらしいが、誤魔化しの甘いささやきに乗せられて、不登校までにはならなかった。就学時期を終わって、現実社会の職場では、学校時代の保護はないので、企業の利益追及の流れに乗り切れず、淡い夢を描き退職した。その夢は現実の壁にぶち当たり、出口の見えない妄想の世界に迷い込んだ。その次男を長男は支えてやりたいと思い、京都から津山に帰ってきた。長男は多少裏の世界を渡り歩いたのかもしれない。建前と本音を微妙に嗅ぎ分けようとしてきた。しかし道半ばでその重さに押しつぶされてしまった。その道を辿り切ることが、彼の想いを汲み取ることになるだろう。それが客観的・普遍的な学問の道に通じる。それが残された我々夫婦の親としての務めであり、供養でもあると私は考えている。それが私たち「NPO法人津山・きびの会」の新しい年の構想に繋がればいいなあと考えている。皆様 よろしくご協力ください。 (川島焯三)



史上最高売上 にぎわい市

11/20(日)第19回にぎわい市がソシオ一番街で開かれました。当日は鶴山公園でもイベントがあり、客足はそれほど多くはなかったのですが、商品提出の参加者もあり、総売り上げ(89,790円)は今までで一番でした。ご協力に駆けつけて下さった方は16名、家族の応援団もあり、皆が楽しく頑張った結果です。

にぎわい市の販売商品は何といても焼きそばで、もはや「にぎわい市の味」として毎回200食を超えています。時にはライバル店の出店があり苦戦したり、出店場所が変わって準備が手間取ったりしたこともありましたが、乗り切ってきました。材料の追加をしたことも何回もあり、今回もソースを追加して焼き売れました。

会員の方の提供していただく商品の「こんにゃく」や柿と柿の加工品、キウイ、ゆずみそなどなど・・・。コーヒーの販売もいつものものにぎわいでした。今年は野菜の仕入れ販売をしましたがこれも順調でした。

津山きびの会が「にぎわい市」に参加するようになってから今年で何年になるでしょうか？画像でおもいだしてください。



第5回トトロサロン

1月28日(土)

一品持ち寄り新年会です、参加お待ちしております。(集合11時)